



図書館で読書を

親川 兼勇
(附属図書館長)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの学生生活では、多くの自由があなたを待っています。感受性の豊かな、そして柔軟に考えることができるこの時期に、多くの時間を読書に充てることをお勧めします。読書は視野を広げ、これからの自分の人生やものの見方・考え方のヒントを与えてくれます。図書館にいくと必ず出会うべき本が見つかるはずですよ。

皆さんが、いつでも訪ねられるように講義棟と食堂の近くに、附属図書館があります。哲学、歴史、社会科学、自然科学、技術・工学、産業、芸術・美術、言語、そして文学の順に分けて、書架に並べてあります。それらをじかに手に取ってみることをお勧めします。さらに、皆さんに読んでいただきたい図書を特別に展示している教養図書コーナーを設けてあります。図書館では、読書によって感動を受けた体験を綴る読書論文コンクール、文学活動を活性化させようと小説の募集をしましたが、専門分野に関係なく多くの応募がありました。今年度は皆さんが応募してくださるもの

と期待しております。

図書館のもうひとつの特徴として、沖縄関係資料コレクションがあります。多くの貴重な資料があり、修復をしながら丁寧に保存されています。これらは画像データ化され、インターネット上でみることが出来るようになっていますが、本物を見たいとの要求も高く、地域の図書館との共催で貴重書の展示も行っています。

大学生活は、多くの仲間と接し、ものの見方や考え方が各々違うということを経験する場、さらに自分の身の回りの小さな社会から、地球全体のことまでを考える場でもあります。理想と現実、そのギャップに困惑するかも知れませんが、多くの図書との出会いや、先人の残してくれた貴重な資料にふれることを通して、学習することや研究することの大切さを知り、強い意志と現実に耐えうる力を持った自分を創ってくださることを期待いたします。

(おやかわ けんゆう:工学部教授・伝熱促進)

目次

- | | | | |
|---|------------------------|---|-----------------------|
| 1 | 巻頭言 図書館で読書を | 5 | 2006年度新収蔵沖縄関係資料の紹介(2) |
| 2 | 琉大で学んだ文学者たち | 6 | 図書館所蔵貴重資料の紹介(3) |
| 4 | 琉球大学びぶりお文学賞を創設 | 7 | 図書館トピックス |
| 4 | 平成19年度琉球大学附属図書館貴重書展を開催 | 8 | お知らせ |

附属図書館企画展

「琉球大学で学んだ文学者たち」

琉球大学の卒業生には芥川賞作家を始めとして文学界で活躍している人が数多くいます。附属図書館ではこれらの方々の紹介を目的に、平成19年9月10日から10月31日の間、著作パノラマ展を開催しました。今回、展示内容を抜粋してご紹介します。

沖縄で三人目の芥川賞受賞

又吉 栄喜 (またよし・えいき)



小説家。1947年、沖縄県浦添市生まれ。琉球大学法文学部史学科卒。学生時代から創作を手がけ、1975年に「海は蒼く」で第1回新沖縄文学賞佳作。1976年「カーニバル闘牛大会」で第4回琉球新報短編小説賞。1978年「ジョージが射殺した猪」で第8回九州芸術祭文学賞最優秀賞。1978年第13回沖縄タイムス芸術選奨奨励賞。

1980年「ギンネム屋敷」で第4回すばる文学賞。1996年「豚の報い」で第114回芥川賞。1996年第30回沖縄タイムス芸術選奨大賞。その作品は英語、仏語、中国語、ルーマニア語などに訳されている。1999年に「豚の報い」が崔洋一監督で映画化される。沖縄の風土や自らの戦後の体験、風景を取り入れた作品が多い。

沖縄で四人目の芥川賞受賞

目取真 俊 (めどるま・しゅん)



小説家。1960年、沖縄県今帰仁村生まれ。琉球大学法文学部文学科国文学専攻卒。1983年に「魚群記」で第11回琉球新報短編小説賞。1986年「平和通りと名付けられた街を歩いて」で第12回新沖縄文学賞。1996年「水滴」で第27回九州芸術祭文学賞地区優秀。1997年に「水滴」で第117回芥川賞。2000年に、「魂 (まぶい) 込め」で川端康成文学賞。同年、同作で木山捷平文学賞も受賞。沖縄戦、戦後の米軍基地問題など沖縄が置かれている状況に根ざした作品が多い。2004年に自作を自らシナリオ化し、東陽一監督で映画化された「風音」は第28回モントリオール世界映画祭・イノベーション賞を受賞した。小説発表のかたわら政治・社会状況に対しても積極的に発言している。

小説

■ 又吉 栄喜 (またよし・えいき) / 小説/1947/法文学部

[著作] 海の微睡(まどろみ) (光文社,2000) / 陸蟹たちの行進 (新潮社,2000) / 果報は海から (文芸春秋,1998) / 木登り豚 (那覇:カルチュア出版,那覇池宮商会出版部(発売),1996) / ギンネム屋敷 (集英社,1981,1980年 第4回すばる文学賞受賞作品) / 鯨岩 (光文社,2003) / 巡査の首 (講談社,2003) / 人骨展示館 (文芸春秋,2002) / 夏休みの狩り (光文社,2007) / 波の上のマリア (角川書店,1998) / パラシュート兵のプレゼント: 短篇小説集 (海風社,1988) / 豚の報い (文芸春秋, 1996,第114回芥川賞受賞作品) / Histoire d'un squelette ; roman traduit du japonais par Patrick Honnoré Arles : Philippe Picquier , c2006 / ジョージが射殺した猪 1冊(64枚) 直筆原稿(400字詰) (琉球大学附属図書館所蔵) (1978年 第8回九州芸術祭文学賞受賞作品)

■ 目取真 俊 (めどるま・しゅん) / 小説/1960/法文学部

[著作] 沖縄: 草の声・根の意志 (世織書房,2001) / 沖縄「戦後」ゼロ年 (日本放送出版協会,2005) / 沖縄「地を読む時を見る」 (世織書房,2006) / 群蝶の木 (朝日新聞社,2001) / 水滴 (文芸春秋,1997,第117回芥川賞受賞作品) / 虹の鳥 (影書房,2006) / 風音: The crying wind (リトル・モア,2004) / 平和通りと名付けられた街を歩いて : 目取真俊初期短篇集 (影書房,2003) / 魂込め (まぶいぐみ) (朝日新聞社,1999,2000年 第26回川端康成文学賞, 第4回木山捷平文学賞)

■ 崎山 多美 (さきやま・たみ) / 小説/1954/法文学部

[著作] くりかえしがえし (砂子屋書房,1994) / コトバの生まれる場所 (砂子屋書房,2004) / 南島小景 (砂子屋書房,1996) / ムイア二由來記 (砂子屋書房,1999) / ゆらていくゆりていく (講談社,2003)

■ 大城 貞俊 (おおしろ・さととし) / 小説/1949/法文学部

[著作] 小説= 椎の川 (朝日新聞社,1993,具志川市民文学賞) / アトムたちの空 (講談社,2005,第3回文の京芸賞) / 記憶から記憶へ (文芸社,2005) / 運転代行 (新風舎,2006,第24回新風舎出版賞フィクション部門優秀賞受賞) / 詩集= 秩序への不安: 大城貞俊詩集 (コロニー印刷所(印刷),1980) / 夢・夢夢街道: 大城貞俊詩集 (編集工房 貌,1989) / 大城貞俊詩集 (脈発行所,1991) / グッドバイ・詩 / (扶芸出版,1994) / 或いは取るに足りない小さな物語: 大城貞俊詩集 (なんよう文庫,2004,第28回山之口鏡賞) / 評論= 沖縄戦後詩史 (編集工房 貌,1989) / 沖縄戦後詩人論 (編集工房 貌,1989) / 憂鬱なる系譜: 「沖縄・戦後詩史」増補 (ZO企画,1994) / 戯曲= 山のサバニ (那覇出版社,1998,第1回沖縄市戯曲大賞受賞作品)

■ 田場 美津子 (たば・みつこ) / 小説/1947/短大部

[著作] 仮眠室 (福武書店,1988)

■ 樹乃 タルオ (きの・たるお) (本名:池宮城秀一) / 小説/1939/法文学部

[著作] 燠 (平山印刷,1996) / 存在はかすめとる手つき似て 一池宮城秀一作品集 (1973)

■ 新崎 恭太郎 (あらさき・きょうたろう) (本名:吉里真輝) / 小説/1940/法文学部

[著作] 蘇鉄の村 (島尻書店,1984)

■ 池田 誠利 (いけだ・まさとし) / 小説/1936

鴨の行方 (1981)

■ 上地 隆裕 (うえち・たかひろ) (筆名:香深空也人(かふか・からやん)) / 小説・音楽評論/1948/法文学部

シャイアンの子 (2005), [著作] アメリカ・オーケストラの旅: アメリカの交響楽団とその背景 (新報出版,1979), アメリカのオーケストラ (泰流社,1989), アメリカの交響楽団東京 (泰流社,1987), 遥かなるオルフェウス: 辺境からの洋楽通信 (那覇出版社,1988)

■ 我如古 修二 (がねこ・しゅうじ) (本名:比嘉秀喜) / 小説/1952

デブのポンゴに揺られて (1980), 耳切り坊主の唄 (1991), この世の眺め (1995)

■ 國古 高史 (くによし・たかし) / 小説/1948/理学部

憧れ (1997), 砂上の眸 (1999), 海上の墓碑 (2001), バードハウス (2006)

■ 崎山 麻夫 (さきやま・あさお) (本名:崎浜秀俊) / 小説/1944/法文学部

軍人節 (1991), 絆 (1995), 桜 (1995), 闇の向こうへ (1996), ダバオ巡礼 (1997), 妖魔 (1997)

■ 小橋 啓生 (しょうはし・けいせい) (別筆名:小橋玲) (本名:小橋川博) / 俳句・小説/1949/法文学部

小説= 溶解 (1975), 蛍 (1982) [著作] 句集= 水の脈 (1985,旭堂), 天の川 (1989,近代文芸社), 紅たちてゆく女 (1991,同), 紅蛍 (1992,同), 夢幻航海 (2006,東京四季出版)

■ 知念 正昭 (ちねん・まさあき) / 小説/1951/法文学部

シンナ (1988)

- **中原 晋**(なかはら・しん)(本名:山里勝己)/小説/1949/法文学部
銀のオートバイ(1977),
[著作] 場所を生きる—ゲーリー・スナイダーの世界—(山と溪谷社,2006),ゲーリー・スナイダー「終わりになき山河」(共訳,思潮社,2000),自然と文学のダイアログ都市・田園・野生(彩流社,共編,2004)
- **仲村 隼**(なかんだかり・はつ)(本名:呉屋初枝)/小説/1950/法文学部
約束(1981),母たち女たち(1982),旅人(1983),陳情(1989)

- **平田 健太郎**(ひらた・けんたろう)(本名:富永健)/小説/1953/工学部
ニュータウン(1984),侵入者(1987),蛭嶺の日(1987)
- **美里 敏則**(みさと・としのり)/小説/1950/法文学部
ツル婆さんの場合(2000)
- **宮里 尚安**(みやざと・しょうあん)/小説/1941/法文学部
トタン屋根の煙(1973),翁の館(1975),風化の里(1976),馬走らす(1979)
[著作] 夏の大將(1991)

詩

- **赤嶺 盛勝**(あかみね・せいしょう)/詩/1943/法文学部
[著作] 第一詩集・夢のかけら(1993),第二詩集・夢のかけらII(2005)
- **新川 明**(あらかわ・あきら)/詩・ジャーナリスト/1931/法文学部
[著作] 詩画集=日本がみえる(1983,共著),異族と天皇の国家(1973),新南島風土記(1978,毎日出版文化賞),琉球処分以後(1981),りゅう子の白い旗(1985,共著),反国家の兇区(1996),沖縄・統合と反逆(2000),オヤケ・アカハチ物語(2003,共著)
- **上原 紀善**(うえはら・きぜん)/詩/1943/理学部
[著作] 詩集=閉閉(1989),サンサンサン(1992,第15回山之口獏賞),ふりろろんろん(1993),原始人(1995),嘉手志(1996),燃える緑(2004)
- **岡本 定勝**(おかもと・さだかつ)/詩/1937/法文学部
[著作] 記憶の種子(2006,第29回山之口獏賞)
- **沖野 裕美**(おきの・ひろみ)(本名:仲地裕子)/詩/1945/法文学部
[著作] ソールランドを素足の女が(1973,思潮社,第3回高見順賞次席),カルサイトの筏の上に(1978,オリジナル企画),無蔵よ(2000,第31回高見順賞次席),魔術師(2006,久米島出版社)
- **川満 信一**(かわみつ・しんいち)/詩・評論/1932/法文学部
[著作] 川満信一詩集(1977),沖縄・根からの問い(1977),沖縄・自立と共生の思想(1987),宮古歴史物語(2004),詩集・世紀末のラブレター(1994),川満信一コラム文庫I,II,III(1995)
- **桐野 繁**(きりの・しげる)(本名:今別府邦洋)/詩/1963
[著作] すからむうしゅうの夜(2001)
- **清田 政信**(きよた・まさのぶ)/詩・評論/1937/法文学部
[著作] 詩集=遠い朝・眼の歩み(1963,詩学社),光と風の対話(1978,思潮社),清田政信詩集(1975,永井出版企画),疼きの橋(1978,永井出版企画),瞳詩編(1982,沖積社),南溟(1982),渚詩編(1982,海風社),碧詩編(1984,七月堂)
評論集=流離と不可能性(1970,発想編集部),情念の力学(1980),抒情の浮城(1981,沖積舎),造型の彼方(1984,ひろぎ社)

- **東風平 惠典**(こちんだ・けいてん)/詩/1938/法文学部
[著作] 詩集=嵐のまえぶれ(2004)
- **田中 真人**(たなか・まさと)/詩・評論/1944/法文学部
[著作] 星への歩み(1971,思潮社),クラゴウの流れまで(1982,海風社),私の介護の日々(1999,家の光協会出版局)
- **新城 兵一**(しんじょう・たけかず)/詩/1943/理学部
[著作] 詩集=未決の囚人(1976,国文社),流亡と飢渴(1979,根元書房,第1回沖縄タイムス出版文化賞),無名記(1980,根元書房),愛あるいは夢殺し(1981,根元書房),風にまみれて(1986,白地社),エチカ(1988,沖縄自分史センター),新城兵一詩集(沖縄現代詩文庫4,1989,脈発行所),流動するもの(1990,同),新城兵一詩集(1993,同),生命(ひびき)あり(1995,白地社)
評論集=負荷と転位(1993,脈発行所),生存と仮構(1993,同)
- **中里 友豪**(なかざと・ゆうごう)(本名:仲里朝豪)/詩・演劇/1936/法文学部
[著作] 詩集=コザ・吃音の夜のバラード(1984),任意の夜(1986),ラグーン(1989),遠い風(1998)(第21回山之口獏賞)
エッセイ集=思念の砂丘(1997)
戯曲=越境者たち(2000,第4回沖縄県戯曲大賞) 詩画集=トスカーナへの旅(2002)
- **西銘 郁和**(にしめ・いくかず)/詩/1952/教育学部
[著作] 星盗り(1978),西銘郁和詩集(沖縄現代詩文庫9,1992),田里朝直の遠望(1997)
- **松原 敏夫**(まつばら・としお)/詩/1948/法文学部
[著作] 那覇午前零時(1977,アザリア書房),アンナ幻想(1986,海風社)(第10回山之口獏賞)
- **宮城 秀一**(みやぎ・しゅういち)/詩・創作/1948/法文学部
[著作] 詩集=火の味(1978),シドニーにて(1988)
混成合唱組曲=サンバ(1982) エッセイ集=歌のゆくえ(1982)
写真集=フォート・コレクション—コザ残像(1984)
- **宮城 松隆**(みやぎ・まつたか)/詩・評論/1943/法文学部
[著作] 詩集=島幻想(1990),宛先不明(1993),宮城松隆詩集(1995),闇の人影(1999),逢魔が時(2001),しずく(2005)
詩論集=詩語の密度(1994),日常と幻視(1998)

短歌・俳句

- **大城 勲**(おおしろ・いさお)/短歌/1939/法文学部
[著作] 歌集=孤独のピエロ(1968),小さき沖縄(1988,短歌新聞社)
- **おおしろ 房**(おおしろ・ふさ)(本名:大城房美)/俳句/1955/理学部
[著作] 恐竜の歩幅(2001)
- **新城 貞夫**(しんじょう・さだお)/短歌/1938/法文学部
[著作] 夏,暗い罫が(1963),朱夏(1971),花明り(1979),新城貞夫歌集(1998)
- **神矢 みさ**(かみや・みさ)/俳句/1945
[著作] 大地の孵化(1999)
- **金城 けい**(きんじょう・けい)(本名:金城敬子)/俳句・詩/1945/法文学部
[著作] 句集=回転ドア(1996),水の階段,悲喜の器(2005)
詩集=サガリバナ幻想(1994),陽炎の記憶(1995)

- **崎間 恒夫**(さきま・つねお)/俳句/1932/理学部
[著作] 軌跡・我楽多集,句集東廻り(2006)
- **新城 森彦**(しんじょう・もりひこ)/短歌/1935
[著作] 楷の樹(1990,短歌新聞社),郷の海(1995,短歌新聞社),郷に読むうた(2000,文芸書房),茄子紺(2006,文芸工房さばる)
- **玉城 洋子**(たまき・ようこ)/短歌/1944
[著作] 紅い潮(1982),浜昼顔(1989),花染手巾(2002)
- **平山 良明**(ひらやま・りょうめい)/短歌/1934/法文学部
[著作] 沖縄やまとことばの本(1984),平山良明歌集(1987),国語教育と短歌の指導(1989),時を織る(2006)
- **平敷 武蕉**(へしき・ぶしょう)(本名:平識武勝)/俳句・文芸批評/1945/法文学部
[著作] 文学批評は成り立つか(2005,ボーダーインク,銀河系俳句大賞),沖縄からの文学批評(2007,ボーダーインク)

映画・演劇

- **中江 裕司**(なかえ・ゆうじ)/映画監督/1960/農学部
パイナップルツアーズ(1992,日本映画監督協会新人賞,ベルリン国際映画祭招待,サンダンスフィルムフェスティバル審査員特別賞),パイパティローマ(1994),ナビの恋(1999,第50回ベルリン国際映画祭NETPAC賞(最優秀アジア映画賞)),文化庁優秀映画賞,ホテル・ハイビスカス(2002,東京国際映画祭審査員特別賞),白百合クラブ東京へ行く(2003年),恋しくて(2007年)
- **當間 早志**(とうま・はやし)/映画監督/1966/工学部
はれ日和(1988,第7回五都市映画祭審査員特別賞),パイナップルツアーズ(1992,日本映画監督協会新人賞),沖縄ポップ伝説—カッチャー(1999,NHK衛星第2),探偵事務所5 Another Story File 7 マクガフィン(2005)

- **幸喜 良秀**(こうき・りょうしゅう)/演劇/1938/法文学部
演劇集団「創造」主宰
- **照屋 京子**(てるや・きょうこ)/女優・演劇/1963/法文学部
脚本=Dramatic 執心鐘入(1993),いふ〜if〜アネッタの窓辺に語る夢は(1997),ぼくらのけっせんの日(1999),カリブシリーズ(2002~2004),ゴンドールのやさしい光(2005)
エッセイ集=城の上には十六夜月(1995,ボーダーインク)
- **平識 晶子**(へしき・しょうこ)(本名:与那覇晶子)/演劇学,演劇評論/法文学部
人類館(演出,1983,米国インジシアター),嘉間良心中(脚本・演出,1990,沖縄ジャンジャン)

文芸評論

- **仲村 清**(なかむら・きよし)/評論/1944/法文学部
[著作] 公房と雄高の世界(1983)

- **比屋根 薫**(ひやね・かおる)/文芸批評/1947/法文学部
Bzをめぐる冒険—ヤボネシア論と異族論の行方—(1995,沖縄文芸年鑑評論賞)
[著作] バリ群像(共著,1974)

「琉球大学びぶりお文学賞」を創設

受賞者は山原みどりさん

附属図書館は「本学が基本目標として掲げる「地域及び広く社会に貢献する人材」「意欲と自己実現力を有する人材」育成の一環として、言語力（読む力、書く力）を向上させ、想像力、表現力、創造力豊かな学生を育成するとともに、文学の啓蒙活動を高め、地域社会における文学・文化活動のリーダーを輩出する」ことを目的に、琉球大学びぶりお文学賞を創設し実施しました。ジャンルは小説で、10月31日で応募締めきりしましたが、31編の応募があり、この数は地方の新聞社が主催する文学賞の応募数に匹敵する数と言われるほどの多さです。

応募作品について、学内の教員でつくる選考委員会で慎重に選考した結果、右記の通り、受賞作1編と佳作3編を決定し、学内外に発表しました。



前列左から大谷さん、山原さん、岩政学長、砂川さん、村上さん。
後列左から村上教授（選考委員）、山里教授（〃）、親川館長

受賞作

「あおい海の目で」

山原みどり (法文学部国際言語文化学科3年)

佳作

「名付け」

村上陽子 (人文社会科学部国際言語文化専攻2年)

佳作

「コルネリアの幽霊屋敷」

大谷凜 (法文学部人間科学科2年)

佳作

「窓虎魚、猫人間」

砂川祐樹 (工学部情報工学科4年)

平成19年度

琉球大学附属図書館貴重書展を開催

附属図書館は、毎年、公共図書館と連携して、資料の公開や地域貢献・地域連携の一環として行っている貴重書展を今年は沖縄本島中部にある宜野湾市民図書館で10月17日から22日の間、開催しました。

展示会テーマは「琉球・沖縄の歴史と文化への誘い」で、所蔵している琉球・沖縄関係の貴重書の中からテーマに沿って選んだ26点と大正期の沖縄を撮影したガラス版写真のパネル、収集した明治期沖縄の写真アルバムなどを展示しました。

会場には、開催初日から多くの見学者が詰めかけるなど、日頃見ることの出来ない貴重書に対する市民の関心の高さが窺われ、期間中、約2300名の方が見学しました。その模様は地元のテレビや新聞でも紹介されました。

見学者からは「古い沖縄文化の深さを知った」「昔の写真に出会ってなつかしい」「ほかの地域でもやっ

て欲しい」といった感想・要望を書いたアンケートが多く寄せられ、なかには県外から沖縄観光に来て開催を知り、足を延ばして見学に訪れる人もいました。



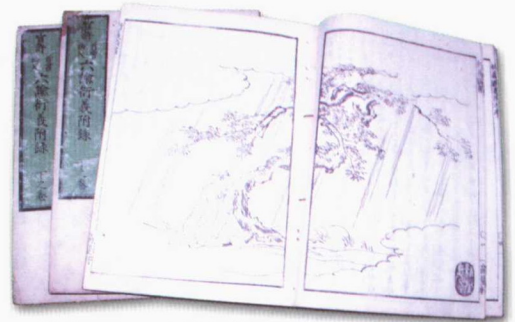
新収蔵沖縄関係資料の紹介(その2・完)

●首書画入 六諭衍義大意抄 全3冊

京都・商量軒勝田蔵版

天保14年刊 図版多数 原装元題簽

程順則が日本に伝え、幕府が庶民教育のテキストとして「六諭衍義」を奨励したのに伴い、民間でも多くのテキストが作られたが、その中でも最も大部なものひとつ。内容に即した教訓的な図版が多数入り、原文に対する解釈もなされている。



△首書画入り六諭衍義大意抄

●六諭衍義大意抄 永楽屋東四郎版 幕末 慶応年間

六諭衍義は幕府奨励のもと、寺子屋の主要なテキストとして全国で無数の版がおこされた。本書はそのひとつ。

本書と同一の版は明治の中頃まで刷られた。

●弓張月春酒霽榮(ゆみはりづきはるのゆうばえ)

全24編 8冊揃 錦昇堂版

1編～17編 楽亭西馬(寛政11～安政5没)

18編～20編 一猛齋芳虎

21編～24編 仮名垣魯文(文政12～明治27没)

挿画 一雄齋国輝(天保元年～明治7没)

文化年間、滝沢馬琴による「椿説弓張月」は、琉球の為朝渡来伝説に題材をとった読本として当時の大ベストセラーになったが、その人気に便乗して多くの類書が作られた。本書もそのひとつで大筋は弓張月と変わらない。作者は西馬・芳虎・魯文の三人がリレーしている。

3編ずつ全8冊の合本となっている。



△弓張月春酒霽榮

●絵本豊臣琉球軍記 前編全10冊

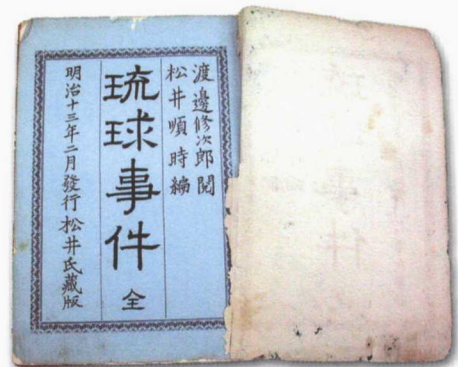
鶴屋南北編述 法橋王山画

安政7年 再版 河内屋藤兵衛他 元表紙・元題簽

本書もまた、「椿説弓張月」の成功に便乗して作られた読本だが、巻題に多色刷木版図版が挿入され、中国風の王城、風俗が美しく描かれている。初版は天保7年。

●琉球事件 明治13年 松井順時

琉球処分の経緯についての報告書。



△琉球事件

●島夷誌 上・下 元汪大淵撰 藤田豊八校注

中国の正史の中に出てくる(外国の)島についての記述をまとめたもの。当然琉球も含まれる。



△島夷誌



図書館所蔵貴重資料の紹介

シリーズ 3

おもろさうし

「おもろさうし」は、沖縄や奄美諸島で、12世紀頃から17世紀初頭にわたって謡われた歌謡を、16世紀から17世紀にかけて、首里王府が採録し、全22冊に編集したものである。平仮名を主とし、きわめてまれに平易な漢字をまじえる。歌の数は1554首であるが、重複を除いた実数は1248首である。また、「ゑとおもろ」の大部分は、南方の国々と中国、日本、朝鮮を結ぶ中継貿易で精力的に行動していた時代に謡われたものである。歌の対象の地域的広がりを見ると、奄美、沖縄はもちろんのこと、宮古、八重山群島を含み、北は京都から鎌倉、南は遠く東南アジアにいたり、中国、日本を含めアジアの全域にまで及んでいる。

「おもろさうし」22巻のうち第1巻は1531年、第2巻は1613年、第3巻～21巻は1623年に編集された。第22巻は一首を除きすべて他巻からの抜粋であり、年代の記載はないが1623年以後のものと考えられる。

原本は1709年の首里城火災の際に焼失した。翌年、具志川家に伝わる具志川本をもとに再編集が行われた。再編集では2部が作られ、1部は城内に(尚家本)、1部はおもろ主取の安仁屋家に(安仁屋本)保管された。現存最古の尚家本(県立博物館所蔵)は、国の重要文化財に指定されている。安仁屋本には尚家本にはない言葉聞書が記入されており、その後の諸本はこの系統に属する。

明治26年に沖縄県尋常中学校に赴任した田島利三郎は、沖縄県庁にあった琉球史料に注目し、本格的なおもろ研究に着手した。その後、田島から資料を託され研究を引き継いだ伊波普猷は、大正末に『おもろさうし選釈』校訂おもろさうし』を刊行し、おもろの存在を広く江湖に知らしめた。昭和の戦後期、伊波の没後は仲原善忠を中心におもろ研究が進められ、仲原は『おもろ新釈』を著したほか、外間守善と共同で『校本おもろさうし』『おもろさうし辞典・総索引』を編んだ。

現在、活字本として最も普及している外間守善校注の日本思想大系本『おもろさうし』(岩波書店、1972)と岩波文庫本(2000)は、いずれも本学附属図書館伊波普猷文庫所蔵の仲吉本を底本とする。

〔参考文献〕

平成14年度 琉球大学附属図書館貴重書展パンフレット「文献で見る沖縄の歴史と風土」、2002、p3-4

1. おもろさうし (仲吉本) 7冊

〔恩河朝祐他写〕 (伊波普猷文庫)

恩河朝祐、仲吉良吉が安仁屋本から写しを作ったといわれる。所有していた仲吉朝助の手を経て伊波普猷に贈られ、仲吉本と呼ばれる。言葉聞書と区切り点の付いていること、改行のない原本どおりの書写であることが、仲吉本の大きな特徴である。

2. おもろさうし (田島本)

田島利三郎 [写], 1895 (伊波普猷文庫)

田島利三郎が、県庁にあった琉球史料本から書写した。尚家本や仲吉本が、全体としては韻律詩のように並びながら1行ほぼ12字で行改めをしているのに比べ、田島本は、「一」・「又」という符号で区切られる文ごと書き下しになっている。

3. おもろさうし

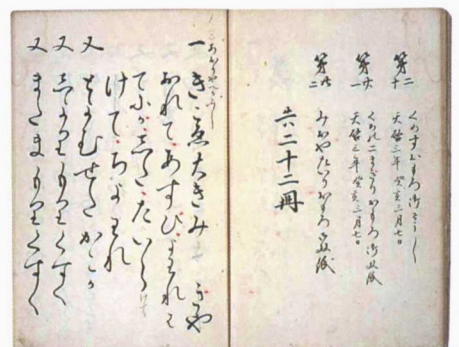
仲原善忠 [写] (仲原善忠文庫)

「仲吉本」から仲原善忠自身が筆写したものの。いわゆる「仲原本」といわれるもの。「注」および本文のところどころに口語訳が付されている。

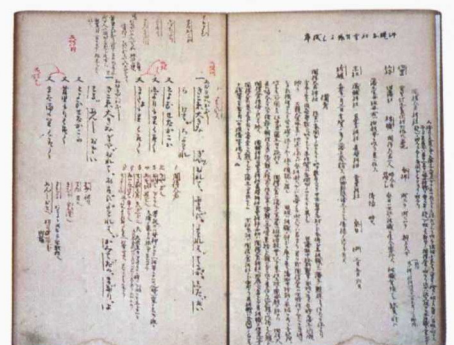
4. 校訂おもろさうし/伊波普猷校訂

東京：南島談話会、1925 (伊波普猷文庫)

田島本を底本とする。田島が安仁屋本と校訂したもの(一部)を反映している。伊波が田島利三郎から引き継いだおもろさうし研究の本格的な先鞭をつけたものとして重要な活字本である。600部発行。少ない写本を頼りにしていた研究が、この書の発行によって裾野を広げた。



△おもろさうし (仲吉本)



△おもろさうし (田島本)

図書館トピックス

11月16日に「琉球大学学術リポジトリ公開記念講演会」を開催しました。講演会では、赤嶺守法文学部教授（「琉大画像データベース」）、今泉裕美子法政大教授（「矢内原文庫データベース」）、金永元延世大学校中央図書館部長・許永錫同主任（「古文庫資料の電子化」）、および、高橋輝情報サービス課長（「貴重資料と機関リポジトリ」）の各講師による講演がなされ、盛況のうちに閉会しました。講演会には多数の参加者があり、県内の新聞でも報道されました。なお、講演予稿集はリポジトリにて公開しています。



正式公開した学術リポジトリのトップページ
(<http://ir.lib.u-ryukyu.ac.jp>)

11月29日に「宣教医ベッテルハイム日記から見るその人物像と19世紀の琉球」と題してベッテルハイム史料修復記念講演会を開催しました。講演会には、地域からの多数の参加者があり照屋善彦琉球大学名誉教授、A・P・ジェンキンズ沖縄県立芸術大学教授によるベッテルハイムの琉球伝道、当時の時代背景、ベッテルハイム史料についての講演に熱心に耳を傾けていました。当日はベッテルハイム日記・公文書簡史料の他、関連資料についての展示も開催し、県内テレビ局のニュースや新聞でも報道されました。



ベッテルハイムの人物像について語る
照屋善彦名誉教授

仲宗根政善琉球大学名誉教授（1907-1995）の生誕百年を記念したシンポジウムが12月8日に附属図書館を会場に開催されたのに合わせ、12月6日～13日の間、「仲宗根政善先生生誕百年記念言語資料展示会」を開催しました。仲宗根先生は教育者として多くの教え子を育てるとともに、琉球方言の研究者としても多くの仕事をなさっており、沖縄県出身者として初の学士院賞を受賞されています。展示会では、琉球列島全域の方言に関する資料、調査ノート、論文草稿、沖縄戦でのひめゆり学徒隊に関する関係追悼文、日記類などを展示しました。



琉球大学の国際交流協定校及び協定校の所在する国に関する資料及び交流状況を紹介する国際交流資料展を企画しました。第1回は、12月10日～12月17日の期間中、タイ王国および同国のチュラロンコン大学、タマサート大学、コンケン大学及びチェンマイ大学を紹介しました。



図書館見学

訪問日	見学者
10月2日(火)	教育学部附属中学校1年生55名 調べ学習「地域に生きる」
10月10日(水)	教育学部附属中学校1年生51名 調べ学習「地域に生きる」
10月16日(火)	具志川高校1年生131名 図書館見学
10月24日(水)	上海師範大学長・国際交流担当副所長 図書館見学
11月7日(水)	南風原高等学校 1年生48名 図書館見学
12月12日(水)	長崎県立小浜高校生徒24名・引率2名

当館資料の放送取材刊行物掲載

放送・発行日	番組名・書名	提供資料
2007.12.4	学習研究社 『新歴史群像シリーズ天璋院篤姫』	プール氏ガラス版写真1点 ペリー来航時の首里入口の門
2007.12.10	沖縄メディア企画 『美ら沖縄のうたCD10枚組』	伊波普猷文庫 「屋嘉比工四」
2008.1.12～	沖縄県立博物館 博物館常設展示 観客動線グラフィックサイン	西脇文庫 「魚町通りの電車」 (絵はがき)
2008.3	渡辺探査技術研究所 『日本の歴史地震史料 拾遺 四』	宮良殿内文書 慶来慶田城由来記、日誌2点
2008.2.15 ～3.16	浦添市美術館特別展 「琉球漆器名品展-美の極み・うるし500年」 パネル展示	プール氏ガラス版写真1点 No.15 琉球の結婚式で 使われる儀式道具

本館

4月 April 2008							5月 May 2008							6月 June 2008						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	11	12	13	14	15	16	17	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	18	19	20	21	22	23	24	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	25	26	27	28	29	30	31	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30											29	30					

7月 July 2008							8月 August 2008							9月 September 2008						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
							31													

医学部分館

4月 April 2008							5月 May 2008							6月 June 2008						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	11	12	13	14	15	16	17	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	18	19	20	21	22	23	24	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	25	26	27	28	29	30	31	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30											29	30					

7月 July 2008							8月 August 2008							9月 September 2008						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
							31													

開館時間 通常期 月～金[黒](Black)8:30～22:00 土・日・祝[緑](Green)10:00～20:00 休業期 月～金[青](Blue)8:30～17:00 土・日・祝[赤](Red)休館(Close)

医学部分館の開館時間の延長について

11月1日より、医学部分館の土・日・祝日(休業期を除く)の開館時間を平日と同じ8:30～22:00へと延長いたしました。

Welcome

平成20年度
新入生オリエンテーション案内

図書館では、新入生のための図書館オリエンテーションを行います。充実した大学生活をおくるために、図書館の活用法をガイドしますので、ぜひご参加ください。

開催日 4月7日(月)～18日(金)の毎日
(土・日を除く)

開催時間 (午前)12:15～12:45
(午後)16:30～17:00

集合場所 本館カウンター前

内容 図書館施設の案内と図書館活用法

予約等は要りません。3分前に集合してください。
問合せ先→情報リテラシー係 (Tel: 098-895-8170)

本館だより

平成19年10月15日

第257回 附属図書館運営委員会録

○審議事項

1. 学術情報基盤資料の整備について

○報告事項

1. 琉球大学附属図書館貴重書展の開催について
2. 琉球大学学術リポジトリ公開記念講演会について
3. 学内企画展について

平成20年3月18日

第258回 附属図書館運営委員会録

○審議事項

1. 附属図書館関係規則等の改正について
2. 学術情報基盤資料の整備について

○報告事項

1. 中期目標・中期計画について
2. 「びぶりお文学賞」の実施結果について

医分館だより

平成20年1月18日

第63回 医学部分館運営委員会録

○審議事項

1. 中期計画案について

○報告事項

1. 時間外開館の延長について